

## TOPIC

# 国立の「顔」づくりアンケートを実施しました



▲アンケート表紙

国立市のシンボルとして多くの人々に親しまれ、愛されてきた“赤い三角屋根の国立駅舎”が国立駅前に再築されたことを契機に、今後国立駅前の東西広場、円形公園の整備といった「国立の顔づくり」がスタートします。整備にあたっては皆さんの声を聞きながら、人のための空間整備を進めていくこととし、昨年11月（実施期間：2021年11月8日～11月24日）に東西広場・円形公園の整備を一緒に考えるためのアンケート調査を実施しました。

アンケートでは東西広場・円形公園のコンセプト、整備のポイント、具体的な利用方法や整備後の管理運営など幅広くご意見を伺いました。

今回はアンケートの活かし方や結果の一部についてお知らせします。

## ご協力ありがとうございました

アンケート配布数（無作為抽出）	回答件数
3000 件	1097 件

回答率  
36.6%

## 国立の顔づくりアンケートの活かし方

### 皆さんとともに進める

### 整備基本方針の策定に向けて

国立の顔づくりを進めていく上で、まず「整備基本方針」を策定し、東西広場・円形公園の整備の基本的な方向性を定め、基本設計や実施設計に活かします。

今回実施したアンケートは、昨年4月に実施したアンケートで得られた東西広場・円形公園の空間イメージを具体化し「整備基本方針」へ皆さんの声を反映するために実施したものです。

結果の詳細は、今後市のホームページ等で公表していきます。



▲アンケートの活かし方イメージ

# アンケートの結果を一部紹介します

今回実施したアンケートのうち、東西広場・円形公園のコンセプトや整備のポイントに関するものについて、結果を紹介します。

## 問1 東西広場・円形公園のコンセプト

「東西広場」と「円形公園」を整備するにあたって、以下のようなコンセプトを大切にしながら取り組みを進めていきたいと考えています。それぞれの大切さについて、5段階で考えて当てはまる数字に○をつけてください。

### 設問項目

### 「非常に大切である」「大切である」と回答した人の割合

● 安全に歩き回ることができる人中心の駅前	85.6%
● 国立市らしい景観を大切にした駅前	83.9%
● 誰もがゆったりと過ごせる駅前	77.0%
● にぎわい創出の拠点として様々な活動ができる駅前	53.7%
● 経済循環の拠点として、青空市など商業的な活動ができる駅前	53.6%

安全に歩き回ることができる、国立らしい景観を大切にすることへの回答が8割以上となりました。

## 問2 東西広場の整備のポイント

「東西広場」について、コンセプトを実現するために、以下の整備のポイントを大切に整備を進めていきたいと考えています。5段階で考えて当てはまる数字に○をつけてください。

### 設問項目

### 「非常に大切である」「大切である」と回答した人の割合

● 旧国立駅舎や周辺の建物と調和が取れていること	81.8%
● 大学通りと同じように緑が感じられること	79.3%
● ベンチなどが適切に配置されており長時間居心地良く過ごせること	61.0%
● イベントの開催など様々な活動に必要な電源や水道が整っていて使い勝手が良いこと	60.0%

周辺との調和や緑が感じられることが大切であることへの回答が8割以上となりました。

## 問3 円形公園の整備のポイント

「円形公園」について、コンセプトを実現するために、以下の整備のポイントを大切に整備を進めていきたいと考えています。5段階で考えて当てはまる数字に○をつけてください。

### 設問項目

### 「非常に大切である」「大切である」と回答した人の割合

● 旧国立駅舎や周辺の建物と調和が取れていること	83.9%
● 大学通りと同じように緑が感じられること	80.7%
● 大学通りから旧国立駅舎がはっきり見えること	69.1%
● イベント時に使用しやすいこと	44.1%

周辺との調和や緑が感じられることへの回答が8割以上となりました。

アンケート結果の詳細は HP をご覧ください▶

